

埼玉 アーティスタ 通信

2015 5月-6月

SAITAMA
ARTS THEATER
PRESS
VOL.57

テロ・サーリネン・カンパニー
『MORPHED — モーフト 』

TERO SAARINEN COMPANY "MORPHED"

彩の国シェイクスピア・シリーズ第31弾

『ヴェローナの二紳士』

立川談笑 / ベンジャミン・グローヴナー / 福田進一

CONTENTS

- 03 〈PLAY〉恋の街ヴェローナとシェイクスピア
彩の国シェイクスピア・シリーズ第31弾『ヴェローナの二紳士』
オックスフォード大学演劇協会 (OUDS) 『ロミオとジュリエット』
- 06 〈FAMILY〉夏休み、舞台の世界で旅をする
コンフェティ劇団『秘密のショートケーキ』
サンクトペテルブルグ プラスチックハンドシアター“ハンドメイド”
『ハンドメイド』
- 08 〈RAKUGO〉江戸の風情を感じさせるような落語を
彩の国さいたま寄席 四季彩亭～平成26年度彩の国落語大賞受賞者の会
受賞者 立川談笑インタビュー
- 10 〈DANCE〉ダンスだからこそ到達できる、普遍的な世界
テロ・サーリネン・カンパニー『MORPHED—モーフ』
Interview テロ・サーリネン
- 12 〈MUSIC〉往年の巨匠を敬愛する若きヴィルトゥオーゾのピアノズム
ピアノ・エトワール・シリーズ Vol.27
ベンジャミン・グローヴナー
- 14 〈MUSIC〉これが、僕を考える「ギター音楽の王道」のプログラム
「次代へ伝えたい名曲」第4回
Interview 福田進一
- 16 〈FAMILY〉家族でオーケストラを“感じる”コンサート
埼玉会館ファミリー・クラシック「夏休みオーケストラランド!」
- 18 〈COLUMN〉Break Time
時代を越えるラブストーリー 映画で楽しむロミジュリ
- 19 REVIEW
- 20 イベント・カレンダー／チケットインフォメーション／彩の国シネマスタジオ
- 23 INFORMATION
- 24 〈COLUMN〉岩松 了 連載「どっちつかずの天使」

【表紙】テロ・サーリネン・カンパニー『MORPHED—モーフ』 Photo © Mikki Kunttu

編集◎川添史子、榊原律子 デザイン◎柳沼博雅、堀内理沙

©公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団 Published on 15.May 2015 All Rights Reserved by Saitama Arts Foundation
※掲載情報は、2015年4月25日現在のものです。公演は追加および一部変更される場合がありますので、ご了承ください。

彩の国シェイクスピア・シリーズ第31弾『ヴェローナの二紳士』

城壁と川が、ハート型に囲むというヴェローナの街

恋の街ヴェローナとシェイクスピア

夏と秋に、彩の国さいたま芸術劇場で上演されるシェイクスピア作品を一足お先にご紹介。
まずは、タイトル通りヴェローナ出身の青年、
そして美しい娘たちの恋模様を描く、彩の国シェイクスピア・シリーズ『ヴェローナの二紳士』。
そして、ヴェローナを舞台に繰り広げられる恋愛悲劇、
オックスフォード大学演劇協会『ロミオとジュリエット』の2作品だ。
恋の街にゆかりある喜劇と悲劇、対照的なラブストーリーを、どちらも楽しもう。

オックスフォード大学演劇協会 (OUDS) 『ロミオとジュリエット』

『ロミオとジュリエット』のジュリエットのモデルはカプレーティ家の娘。
彼女が住んでいた家は、多くのカップルが訪れる観光スポット



恋の街ヴェローナとシェイクスピア



2012年 OUDS『から騒ぎ』公演より Photo ©池上直哉

『ロミオとジュリエット』
Romeo and Juliet

ヴェローナの名門、モンタギュー家とキャピュレット家は、先祖代々、犬猿の仲。そんなある日、モンタギュー家の一人息子ロミオとキャピュレット家のジュリエットは、運命的な出会いを果たす。

たくさんのシェイクスピア作品を上演してきた彩の国さいたま芸術劇場。今年も、注目の作品が続々と登場する。

蜷川幸雄演出
オールメール・シリーズ最新作

まずは蜷川幸雄の演出・監修により、シェイクスピア全37作品の上演を目指す〈彩の国シェイクスピア・シリーズ〉第31弾。物語性を伝えると同時に、驚きの演出を施し、シェイクスピアの世界を再発見で

きるシリーズの最新作は、『ヴェローナの二紳士』に決定！ 一目惚れや嫉妬や片思い……恋する気持ちのもどかしさが散りばめられた、シェイクスピアの初期作品と言われる同作は、若き筆の躍る、切なく甘美、そしてキュートな恋愛喜劇だ。

今回は〈オールメール〉での上演。オールメールとは、シェイクスピアの時代にならない、すべての役を男性が演じる試みで、男優だけの上演によって、新たな意味や面白さがあり出される。そんな人気企画に

参加する注目のキャスト陣には、『ムサシ』（13～14年）の小次郎役を堂々と演じた溝端淳平、『わたしを離さないで』（原作＝カズオ・イシグロ）で静かな悲しみをたたえた青年もとむを演じた三浦涼介、『トロイラスとクレシダ』『ロミオとジュリエット』など多くのオールメール作品に娘役として参加してきた月川悠貴と、蜷川作品でもおなじみ、注目の若手がそろそろ。溝端が初の女優に挑むというのも楽しみ。また、NHK連続テレビ小説『梅ちゃん先生』などで活躍

の高橋光臣が蜷川作品に初参加する。

『ヴェローナの二紳士』は、歴史劇から出発したシェイクスピアが、修業時代に書いた作品の一つ。喜劇に初めて挑戦した戯曲だと言われている。恋と友情、裏切りなどのテーマを、当時人気の高かったロマンス劇をもとに描いている。小姓（男性）に変装する恋人、女性主導の恋愛をはじめ、『十二夜』や『お気に召すまま』などのシェイクスピア喜劇にもあるモチーフの原型が見られるのも楽しい。親友の恋人への横恋慕、揺れる友情、もんちゃくの末の大団円……。若手俳優たちによる、さわやかで痛快な青春喜劇が立ち上がりそうだ。

OUDS『ロミオとジュリエット』

次は、シェイクスピアの生誕の地である英国からやってくる、オックスフォード

大学演劇協会（OUDS）による『ロミオとジュリエット』。OUDSは、1885年に創設され、130年もの間、若い才能を生み出し続けている英国でもっとも歴史ある学生劇団だ。演出家のケネス・タイナン（ナショナル・シアター所属）、多くのシェイクスピア作品で活躍したリチャード・パートンやジョン・ギールグッド、コメディアン、現在の映画・舞台で活躍する俳優のマギー・スミス、ジュディ・デンチ、ヒュー・グラントなど、国内外で活躍する人材を多く輩出。

日本では、2000年の『冬物語』を皮切りにほぼ毎年、ブリティッシュイングリッシュによる原語上演で本格的なシェイクスピア劇はもちろん、現代的な衣装や美術、ポップな音楽などによる、躍動感あふれるシェイクスピア劇を見せ続けてくれてい

る。彩の国さいたま芸術劇場には、2012年『から騒ぎ』以来3年ぶりの登場となる。

今年は、ヴェローナを舞台に繰り広げられる恋愛悲劇『ロミオとジュリエット』。さまざまな舞台・映画で取り上げられてきた、日本でもおなじみの一作だ。ロマティックな場面の数々、一目惚れからわずか数日間で密かに結婚し、すれ違いで死へと突っ走る若者たちの悲劇が、彼らの手でどう立ち上がるのか。ロミオやジュリエットの有名なせりふを、原語で聞けるというのも楽しみだ。OUDSによる『ロミオとジュリエット』は2008年にも日本で上演されているが、またまったく違うバージョンが上陸しそうだ。

恋の街ヴェローナの雰囲気を楽しめる、彩の国さいたま芸術劇場が贈るシェイクスピア2作品。どうぞ、お楽しみに。

『ヴェローナの二紳士』
The Two Gentlemen of Verona

ヴェローナの青年ヴァレンタイン（高橋光臣）は、修学のためにやってきたミラノで、大公（横田栄司）の娘シルヴィア（月川悠貴）と恋に落ち、駆け落ちの約束をする。ところが、あとからやってきた幼馴染みのプロテアス（三浦涼介）もまた、彼女に一目惚れ。さらにそこへ、故郷から恋人プロテアスを追ってきたジュリア（溝端淳平）までもが現れる。道中、身の安全を守るためにセバスチャンと名乗って男装していたジュリアは、あろうことか恋人に従者として雇われてしまい……。



溝端淳平



三浦涼介



高橋光臣



月川悠貴

発売日 一般 7/11(土) メンバーズ 7/4(土) ※メンバーズプレオーダー（抽選）があります

彩の国シェイクスピア・シリーズ第31弾『ヴェローナの二紳士』

10/12(月・祝)～31(土) 彩の国さいたま芸術劇場 大ホール
[演出] 蜷川幸雄 [作] W.シェイクスピア [翻訳] 松岡和子
[出演] 溝端淳平、三浦涼介、高橋光臣、月川悠貴、正名僕蔵、横田栄司、河内大和 ほか
チケット(税込)
一般 S席9,000円 A席7,000円 B席5,000円
メンバーズ S席8,100円 A席6,300円 B席4,500円
U-25*(B席対象)2,000円



発売日 一般 6/27(土) メンバーズ 6/20(土)

オックスフォード大学演劇協会(OUDS)『ロミオとジュリエット』

8/22(土)開演13:30 英語上演/日本語字幕付
彩の国さいたま芸術劇場 小ホール

[作] W.シェイクスピア
[出演] OUDS劇団員(オックスフォード大学演劇協会)
チケット(税込)全席自由
一般2,500円/U-25*2,000円/高校生1,000円
※本公演はメンバーズ料金の設定はございません。

*公演時、25歳以下の方が対象です。入場時に身分証明書をご提示ください。

夏休み、 舞台の世界で 旅をする

この夏、カナダとロシア、海の向こうから上陸する夢いっぱいの舞台をご紹介します。言葉なしで、子どもの瑞々しい感性にうったえる仕掛けたっぷりのファンタジー……。大人も一緒に楽しめる、舞台に魔法がかけられたような児童劇をどうぞ。



Photo©Vincent Champoux



ケーキの住人たちが、絵画のようなポーズをとってお出迎え。無言で演じられる、タブロー・ヴィヴァン(活人画)をどうぞ。Photo©Vincent Champoux



不思議な登場人物たちが、食べ物テーマにしたパフォーマンスを繰り広げる。Photo©Louise Leblanc



客席の頭の上にはハエのミュージシャン。彼が台所用品で奏でるメロディーも楽しんで！ Photo©Vincent Champoux



コンフェティ劇団

Le Théâtre des Confettis

1977年、カナダ・ケベック州で設立。人の幼年期に見られる圧倒的なパワー、豊かな感受性や想像力などといった才能を創作の源に、一貫して青少年向けの演劇をプロデュースしてきた。設立以来旅公演を続け、ケベック州をはじめカナダ全土、アメリカ、ヨーロッパ、アジアなどで公演を重ねている。これまでに上演したオリジナル作品は20を数え、約2,500回、56万人以上の観客を魅了。2003年には『秘密のショートケーキ』でケベック演劇アカデミー (Académie québécoise du théâtre) の青年観客賞を受賞。

ケーキの中を、甘〜い大冒険！

「ケーキの中に入りたい！」そんな願いをかなえてしまうのがコンフェティ劇団のパフォーマンス。観客を迎えるのは、大きな大きなケーキ。扉を開け、ケーキの中へ入ると響くのは、ハエのミュージシャンが台所用品を叩いて演奏する音楽だ。用意されているのは、いくつもの〈食べもの〉の小部屋。一匹ずつ隠れているハエを探し、見つけることができたら次の部屋へ進む。どんどん部屋をくぐり抜けていくと小さな劇場が出現し……。中ではお茶会にもおよばれ、途中、奇妙な住人もいっぱい。ファニーでちょっと不気味(?)な、小さなお芝居も出現する。巨大ケーキの冒険を終え、外に出る時も、ちょっとした仕掛けが！



Санктペテルブルグ プラスチックハンドシアター “ハンドメイド”

Saint Petersburg Plastic Hands Theatre
“Hand Made”

いざ、〈腕〉が誘う異世界へ

舞台上には、軽快なリズムに合わせ、全身黒づくめの服装でダンスをする複数の男女。腕・足・指をしなやかに、生き物のようにあやつり、徐々に車や飛行機、時計やかもめなどの〈かたち〉を生み出したり、文字を浮かび上がらせたり。美しい光と、高い表現力でめまぐるしく目の前に現れる詩的な風景を追うだけで、異世界に誘われていく。 Санктペテルブルグプラスチックハンドシアター“ハンドメイド”の、のびやかな舞台は、大人にも子どもにも、想像力の翼を与えてくれるだろう。

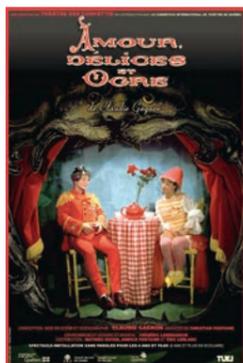
2007年、ロシア・ Санктペテルブルグ演劇アカデミーの人形劇科の卒業生により設立。モスクワのステートクレムリンパレスでの公演、ヨーロッパ諸国での公演を重ね、2010年にはカンヌ国際映画祭にロシア代表として参加し、ヴェネツィアカーニバルのオープニング作品として正式招待を受ける。2012年エジンバラフリンジにて好評を博す。同年、オランダ・メッペルのポッペンフェスティバルで受賞。



手のひらを広げれば、お花畑のような光景が。



手の使い方を変えれば、小さな鳥が羽ばたき、大きな鳥が羽を広げる。



発売日 一般 6/7(日) メンバース 5/31(日)

コンフェティ劇団『秘密のショートケーキ』

7/29(水)~8/2(日) 彩の国さいたま芸術劇場 小ホール

[企画・演出・舞台装置]クロディー・ガニョン

チケット(税込)

大人2,500円 / 子ども(4歳以上中学生以下)1,500円

| | | | | | |
|-------|------|----|----|-----|---|
| | 7/29 | 30 | 31 | 8/1 | 2 |
| | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
| 11:00 | ● | ● | ● | ● | ● |
| 13:30 | ● | ● | ● | ● | ● |
| 15:30 | ● | ● | ● | ● | ● |

※本公演のメンバーズ料金の設定はございません。
※3歳以下のお子様の入場はご遠慮ください。
※ご観覧の際には動きやすい服装でお越しください。
※上演時間約60分 ※定員35名/回

発売日 一般 6/7(日) メンバース 5/31(日)

Санктペテルブルグ プラスチックハンドシアター“ハンドメイド” 『ハンドメイド』

8/4(火)開演 15:00・5(水)開演 11:00/15:00
彩の国さいたま芸術劇場 大ホール 舞台上

[作・演出]アンドレイ・クニャスコフ

チケット(税込)全席自由

大人2,000円 / 子ども(4歳以上中学生以下)1,000円

※本公演のメンバーズ料金の設定はございません。
※3歳以下のお子様の入場はご遠慮ください。 ※上演時間約60分



立川 談笑 インタビュー

平成26年度彩の国落語大賞受賞



江戸の風情を感じさせるような落語を

「ぐずぐずの下町育ち」と言う談笑の生まれは東京都江東区砂町。「こう言うといかにも落語家っぽいですけど、鷹職の親父は青森出身です」と笑う。落語に出合ったのは、早稲田大学法学部を卒業後、予備校講師をしながら司法試験を目指していた時代だそう。「当時は、今より司法試験合格が狭き門の時代。もう受かるだろうというような40歳近くの人たちも合格せず、『今この歳でできることがほかにあるんじゃないかな……』と思い始めた」という。そんな20代後半、人生の曲がり角で、放送作家の高田文夫の存在を知った。その人脈をたどっていくうちに立川談志に行き着き、1993年に入門。

「西洋由来の人権意識っていうのは一般人には根付いてなさそうだなと、勉強をしながら気付いたんですよ。理屈じゃなく、落語ならそういったことを伝えたり、情でかためとるようなことができると思った」。

彼のそんな思いを生かしているのが、新作落語だ。会社の検診で猿だという結果

が出たサラリーマンの悲喜劇を描く『猿の夢』では、見た目人間なのに、DNAが猿というだけで人権が侵されていく不条理が展開される。また、古典の改作『イラサリメーカー（居酒屋・改）』は、アジア系外国人店員の働く呑み屋を舞台にした噺。タイトルの〈イラサリメーカー〉は〈いらっしゃいませ〉のなまり。身近な風景を笑いに変えつつ、社会問題も織り交ぜる。

歴代の受賞者には、現代感覚を併せ持つ噺家がずらりと並ぶ。「今の時代は、自分の言葉で落語を語って、身の丈に合わせて調整する。そういう落語家が随分増えてきています。実は今が黄金期に近いんじゃないかと思うぐらい」と談笑も語る。「わたしはこれまで柔軟な落語をしすぎなので（笑）、今後は、談志の言っていた〈江戸の風〉ではないですけど、江戸の風情を感じさせるような落語をやりたいという気持ちなんです。ああ日本人で良かったなと思っただけのような、伝統的な部分をやっていきたい」。

受賞を記念した7月の落語会では、底抜けにバカバカしいものと、『芝浜』や『文七元結』のようなヒューマンドラマを掛けたいという。まだまだ変化しつつある談笑落語に注目だ。

受賞を記念した7月の落語会では、底抜けにバカバカしいものと、『芝浜』や『文七元結』のようなヒューマンドラマを掛けたいという。まだまだ変化しつつある談笑落語に注目だ。

平成26年度彩の国落語大賞 表彰式 受賞コメント

自分で言うのもなんですが、わりと活躍しているんですが（笑）、落語で賞をいただくのは、これが生まれて初めてです。〈彩の国落語大賞〉はお客様が選ぶ賞だと伺いました。なるほど、僕はお客様から支持をいただいているのだと納得しています。いつもお客様のほうを向いて落語をしてきたことを、評価していただいたのだと思います。

落語というのは古典芸能、伝統芸能です。おそらく、富士山、桜、米の飯と同じような、日本人の心の中の大切なものを守る商売だと思うんです。そういったものを、ライブで、皆様の顔と対応しながらお伝えする……というのが私の使命だと思っています。その一方で落語というのは、大衆芸能でもある。現代のお客様が楽しめるものを提供しなくてはいけない。〈昔の誰かが楽しんでいた何か〉ではなくて、今の皆さんが楽しめるもの。でも、現代の要素一色にしてしまうと、それはそれで使命とは離れてしまうわけですね。

とにかく、今後の活動の支えになるような賞をいただきまして、とてもうれしいです。



立川談笑 たてかわ だんしょう

1965年東京都江東区出身。1993年立川談志に入門、前座名は談生。1996年二ツ目昇進。2003年六代目立川談笑を襲名。2005年真打昇進。噺家としての活動だけでなく、フジテレビ「とくダネ!」レポーターなど、テレビ・ラジオの世界でも活躍している。2014年4月『彩の国さいたま寄席～四季彩亭立川志らくと精鋭若手落語会』における『時そば』にて今回の大賞受賞。

「彩の国落語大賞」とは？

公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団主催『彩の国さいたま寄席～四季彩亭』に出演した若手落語家のうち、年間でもっとも優れた演者に贈られる賞。お客様のアンケート投票結果をもとに決定。

Photo◎加藤英弘



三遊亭兼好

チケット発売中

※残席僅少

彩の国さいたま寄席 四季彩亭 ～平成26年度彩の国落語大賞受賞者の会 立川談笑

7/18(土)開演14:00 彩の国さいたま芸術劇場 小ホール

[出演]立川談笑(彩の国落語大賞受賞・2席)、立川談四樓(ゲスト) ほか

チケット(税込)全席指定 一般3,000円
ゆうゆう割引(65歳以上・障がい者)2,000円
メンバーズ2,700円

| 彩の国落語大賞 受賞者一覧 | |
|---------------|--------|
| 平成10年度 | 林家たい平 |
| 平成11年度 | 柳家花緑 |
| 平成12年度 | 立川志らく |
| 平成13年度 | 柳家喬太郎 |
| 平成14年度 | 立川談春 |
| 平成15年度 | 三遊亭歌武蔵 |
| 平成16年度 | 三遊亭白鳥 |
| 平成17年度 | 三遊亭遊雀 |
| 平成18年度 | 林家彦いち |
| 平成19年度 | 柳家三三 |
| 平成20年度 | 立川生志 |
| 平成21年度 | 三遊亭歌奴 |
| 平成22年度 | 桃月庵白酒 |
| 平成23・24年度 | 桂文治 |
| 平成25年度 | 三遊亭兼好 |
| 平成26年度 | 立川談笑 |

Photo◎加藤英弘



林家たい平

Photo◎小林万里



立川談笑

◎平成23・24年度は劇場改修工事の関係で2年間の出演者の中から大賞を選出しました。

Interview

テロ・サーリネン

ダンスだからこそ到達できる、
普遍的な世界

ついにこの6月、フィンランドのダンス界で中心的な存在感を示す

テロ・サーリネンが、自ら率いるカンパニーとともにやってくる!

その日本初演作品の上陸を前に、彼の貴重なインタビューをお届けしよう。

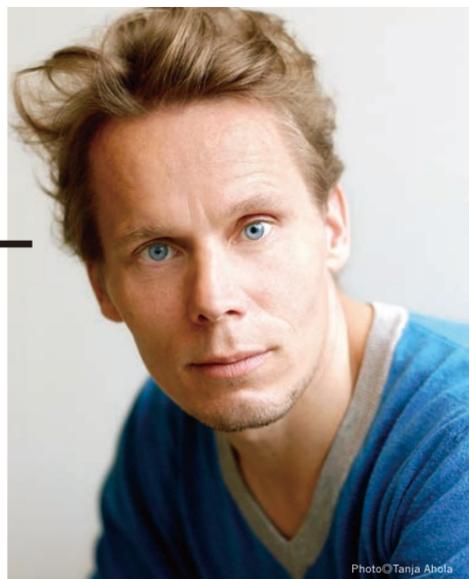
日本でも人気の指揮者・作曲家であるエサ=ペッカ・サロネンの3つの楽曲に

振り付けた新作の見どころはもちろん、

日本を代表するダンサー大野一雄との出会いなど、

彼の多彩な動きの秘密が解き明かされる。

取材・文●上野房子(ダンス評論家)



テロ・サーリネン Tero Saarinen

フィンランドを代表する振付家/ダンサー。振付家として、フィンランド国立バレエ団をはじめバットシェバ舞踊団、ネザーランド・ダンス・シアター (NDT)、リヨン・オペラ座バレエ団など世界の一流カンパニーに振付作品を提供。また、リヨン・ダンス・ピエンナーレほか国際的なダンス・フェスティバルの常連で、仏政府からシュヴァリエ勲章、フィンランド獅子勲章など受賞多数。

フィンランドのコンテンポラリー・ダンスを牽引する振付家テロ・サーリネン。埼玉舞踊協会と共同制作した『MESH』を、昨年2月に彩の国さいたま芸術劇場で発表、鮮烈な日本デビューを飾った彼が、自身のカンパニーを率いて再来日する。

昨夏のヘルシンキ・フェスティバルで初演された『MORPHED』。サーリネンが標榜する〈トータル・アートワーク〉こと、ダンスと音楽、美術、衣裳、視覚効果を融合させた、驚きに満ちた世界が舞台の上に出現する。

「わたしのクリエイションでは、アーティストやデザイナー、ダンサーと徹底的にディスカッションを重ね、舞台の上に一つの環境を構築します。言葉で語り得ないもの、説明し得ないもの、名前でも語り得ないものをすくい取りたい。ダンスだからこそ到達できる、普遍的な世界に向かっていくのです」

サーリネンは作品ごとに手法を変えながら、観る者の予想を覆す色、形、ムーヴメントを生み出してきた。たとえば『MORPHED』で異彩を放つ無数のロープは、20年来のコラボレーターでもあるミッキ・クントウのデザインによる。「ロープはこの作品の象徴です。ロープ自体が〈モーフ〉、つまり変容する。ずっしりと重い物体なのに、空気のように軽やかに見える。定形があるのに、揺れ動き、空間を区切り、視界を妨げる。複合的かつポエティックです」

音楽は、フィンランドを代表する指揮者にして、作曲家でもあるエサ=ペッカ・サ

ロネンの楽曲で構成されている。サロネンは今年3月に英国のフィルハーモニア管弦楽団とともに来日、東京ほかで演奏会をしたばかり。『MORPHED』は聴き所の多い公演となるだろう。

「もともとエサ=ペッカの音楽の大ファンで、CDを山のように持っていたんですよ。『無伴奏ホルンのための演奏会用練習曲』は、古典的でありながら時代を超越している。『フォーリン・ボディーズ』の瑞々しいパワーは圧倒的です。『ヴァイオリン協奏曲』は唸りたくなる超絶技巧を駆使しながら、幻想的。どの曲にも振付家の思考を刺激する動感があり、さらに二面性がある。獐猛でありながら繊細というように。彼の音楽の衝撃が、男性ダンサーの感情とテクニックに向き合う原動力になりました」

男性ばかり8人の出演者は一様に黒装束を身につけ、顔を半ば覆った素性不明の集団として舞台に現れる。ひとたび彼らが踊り始めると、テクニック基盤も容姿も、おそらく文化的背景もおおよそ揃いな猛者揃いであることがわかる。ダンサーもまた、同一性と多様性の両極の間で変容していく。刻々と形を変えていく自然の営みのように。

「わたし自身、30年間も踊ってきましたが、男たちが公然と監視され、〈男らしさ〉という固定概念に囚われていると感じるようになった。〈本物の男〉の在るべき姿は一つではない。だからといって個性に執着し、挑発的に振る舞うのは馬鹿げている。今こそ〈男らしさ〉を再考すべきだ、とい

う思いに駆られました。『MORPHED』では、年齢も経験もまったく異なる男たちが神経を研ぎ澄ませ、官能をぶつけ合い、新たな美と多様性を開花させるのです」

サーリネンは、フィンランド国立バレエで長らく踊った後、日本に長期滞在し、舞踏や日本舞踊を勉強した経験を持つ。ダンス行脚のなかで、彼は忘れ得ぬ男性ダンサーに出会った。カズオこと、大野一雄である。

「直感的で、根源的で、解放されている。そして美しく、力強い。カズオは、私にとって新たな男性ダンサー像の啓示でした。受講生のために即興で踊ってくれた彼の姿が、脳裏に焼き付いています。彼は、文字通り、変容した。彼の魂に触れた感激を忘れることはできません」

サーリネンは、カンパニーのホームページに自身の声明を記している。いわく、「ダンスとは人間性を理解し、それを目に見える形にする私の試みである」。振付家として20年のキャリアを経た彼にとって、ダンスとは何なのだろうか。

「今、わたしたちが生活している社会は矛盾に満ちています。でも、わたしは決して悲観していません。自分たちの過去から目をそらさず、教訓を学べば、確実に未来を切り開けるはずですよ。カズオは、よくこう言っていました。わたしたちは先祖様の上で踊っている、と。踊ることによって、障壁を取り除ける。精神的に繋がることのできる。わたしはダンスの根源的な力を信じています」



Photo©Mikki Kunttu



Photo©Heikki Tuuli

チケット発売中

テロ・サーリネン・カンパニー
『MORPHED—モーフト』

6/20(土)・21(日)開演15:00

彩の国さいたま芸術劇場 大ホール

[振付]テロ・サーリネン [出演]テロ・サーリネン・カンパニー

[音楽]エサ=ペッカ・サロネン(録音音源)

チケット(税込)

一般 S席5,000円 A席3,500円

U-25* S席3,500円 A席2,000円

メンバーズ S席4,500円 A席3,200円

*演出の都合により、開演時間に遅れますと

お席へのご案内ができない場合がございます。予めご了承ください。

*A席(サイドバルコニー)は舞台の一部が見切れます。予めご了承ください。

*公演時、25歳以下の方が対象です。入場時に身分証明書を提示してください。



ピアノ・エトワール・シリーズ Vol.27

ベンジャミン・グローヴナー

往年の巨匠を敬愛する 若きヴィルトゥオーゾのピアノニズム

2015年度の「ピアノ・エトワール・シリーズ」の先陣を切って登場するのは、イギリスのピアニスト、ベンジャミン・グローヴナーだ。10代のころ「キーシンのデビュー時以来の技術と才能」と絶賛されたグローヴナーは、今年23歳。みずみずしい感性と華麗なテクニックで魅了する彼の「今」を絶対に聴き逃したくない。

繊細な感性と深い表現力と

英国では、どちらかといえば技巧性より音楽性を重視するお国柄からか、国際コンクールに優勝して一躍脚光を浴びるとか、天才少年／少女として早くからデビューするタイプの音楽家は少ない。しかし、そうした中でベンジャミン・グローヴナーは2004年に弱冠11歳で「BBCヤング・ミュージシャン」(18歳以下対象の音楽コンクール)のピアノ部門で優勝し、繊細かつ表情豊かな音楽作りで聴衆およびお茶の間を魅了した。その時の審査員の一人であったピアニストの小川典子氏が、すばらしい感性をもった少年がいるのよ、と興奮

気味に話してくれたのをよく覚えている。

それから早11年。コンクール後しばらくは演奏活動を控え、普通校に通いながらピアノを続け、ロンドンの王立音楽アカデミーに進んだ。国際コンクールは受けずにきたが、在学中よりBBCニュー・ジェネレーション・アーティスト(BBCの若手音楽家育成システム)に選ばれ、コンサートや放送などの多くの機会を得て、ソロや協奏曲のレパートリーを拡げてきた。2011年には名高いプロムスにデビュー、開幕公演でピエロフラヴェク指揮BBC交響楽団とリストのピアノ協奏曲第2番を弾き(アンコールのシフラ編曲のブラームスのハンガリー舞曲第5番でも華麗な技巧を披露)、また昨年プロムスではリサイタルも行い、その抒情性と深い表現力で高い評価を得た。

レコーディングではデッカよりすでに4枚のCDをリリース、昨年発表されたアルバム『Dances』(バッハ、ショパン、スクリャービン、グラナドスの舞曲から成るアルバム)は、今年のBBCミュージック・マガジン賞(器楽部門)を受賞した。

こだわりのプログラム テーマは 「ロマン派におけるバロック」

グローヴナーのユニークな点は、いわゆる今どきの若者ではなく、むしろ古風なところがあり、性格もややシャイで奥ゆかしく(5人兄弟の末っ子だそう)、少年のころと変わらない繊細な感性を今も持ち合わせていることだと思う。また彼は往年のピアニストに強い関心を持っていることで知られ、歴史的な録音を聴くのが大好きだそう。

「20世紀前半はよく『ピアニストの黄金時代』と呼ばれますが、当時の名ピアニストたちの才能の幅広さと偉大さは録音にしっかりと刻まれています。それは個性的なピアノニズムの時代といえ、それぞれが鍵盤での独自の「声」を持っていました。とりわけフリードマン、コルトー、モイセヴィッチ、ホフマン、ホロヴィッツ、チェルカスキーらの演奏が好きです」

こうした彼の往年のピアニストへの敬愛は、彼のリサイタルやCDのプログラミン



ベンジャミン・グローヴナー
Benjamin Grosvenor
ピアノ

1992年生まれ。2004年11歳の時、BBC青少年音楽コンクールピアノ部門の傑出した優勝者として一躍脚光を浴びる。2011年、19歳でBBCプロムス第一夜にてBBC交響楽団と共演し、同年デッカ・クラシックスと契約。翌年の英国王立音楽アカデミー卒業時には女王から特に表彰を受け、再びBBCプロムスで、C.デュトワ指揮ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団と共演した。これまでにC.エルトン、L.O.アンズネス、S.ハフ、A.コーエンなどに師事。

グにも反映されており、最近のピアニストがあまり取り上げないレパートリーや、ホロヴィッツら往年のピアニストによるヴィルトゥオーゾ風の編曲ものなどを好んで弾いている。こうした傾向は、今回の「ピアノ・エトワール・シリーズ」でのリサイタルの曲目にも感じられよう。その選曲についてはグローヴナーご本人よりメッセージをいただいたので、以下は彼自身の言葉で語ってもらおう。

「当初はメンデルスゾーンの《前奏曲とフーガ》のあとにショパンのピアノ・ソナタ第2番を予定していたのですが、『ロマン派におけるバロック』というテーマを拡大したいと思い、ブゾーニによるバッハの《シャコンヌ》の編曲とフランクの《前奏曲、コラールとフーガ》を取り上げることにしました。

メンデルスゾーンの《前奏曲とフーガ》はめったに演奏されませんが、すぐれた名曲です。フーガというと知的でドライなイメージがありますが、メンデルスゾーンの手に掛かると決してそんなことはなく、情感あふれるモダンなフーガで、当時のピアノ

発売日
(Vol.27一回券)一般 5/30(土) メンバーズ 5/23(土)

ピアノ・エトワール・シリーズ Vol.27 ベンジャミン・グローヴナー

9/5(土)開演15:00

彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール

[曲目] メンデルスゾーン:
《6つの前奏曲とフーガ》作品35より第1番、第5番
J. S. バッハ(ブゾーニ編曲): シャコンヌ
フランク: 前奏曲、コラールとフーガ 口短調
ラヴェル: クープランの墓
リスト: ヴェネツィアとナポリ(巡礼の年第2年 補遺)

チケット(税込)
一般 正面席3,500円 バルコニー席2,500円
U-25*(バルコニー席対象)1,000円
メンバーズ 正面席3,200円

チケット発売中

ピアノ・エトワール・シリーズ 4公演セット券 (Vols.27~28、アンコール! Vols.4~5)

[アンコール! Vol.4] フランチェスコ・トリスターノ
11/29(日)開演15:00

[曲目] J.S. バッハ: バルティータ 第2番 BWV826 ほか

[Vol.28] チョ・ソンジン

2016年 1/31(日)開演15:00

[曲目] ショパン: 24の前奏曲 作品28 ほか

[アンコール! Vol.5] 福間洗太郎

2016年 2/20(土)開演15:00

[曲目] 武満 徹: リタニ ほか

チケット(税込)
一般・メンバーズ 正面席12,500円 バルコニー席 10,500円
U-25*(バルコニー席対象)4,500円

* 公演時、25歳以下の方が対象です。入場時に身分証明書をご提示ください。

演奏の発展をも反映しています。フーガという形式はこのころすでにあまり顧みられなくなっており、それはフランクの時代になるまで続きました。《前奏曲、コラールとフーガ》は重厚かつ悲劇的で、心動かされる作品です。闇から光への道のりを表し、最後の数ページでようやく葛藤を乗り越え、最後は鐘の音で締めくくられます。

後半のラヴェルの《クープランの墓》は、バロック時代の舞曲(《シャコンヌ》もその一つですが)から成る組曲です。メンデルスゾーンやフランク、ブゾーニと同様、後世の目を通したバロックであり、古い語法と近代的な和声が組み合わせられています。最後のリストの《ヴェネツィアとナポリ》はセットとしてはあまり演奏されませんが、イタリア風の魅力に満ちた曲集です」

特に前半は重厚な作品が並ぶが、グローヴナーはシリアスな面と同時に、往年のピアニストばりの華麗なテクニシャンの面も持ち合わせているので、後半はヴィルトゥオーゾ技巧も聴かせてくれるだろうし、きっとアンコールではサプライズを披露してくれるのではないかと期待している。

彩の国さいたま芸術劇場シリーズ企画

「次代へ伝えたい名曲」第4回 福田進一 ギター・リサイタル

9/12(土)開演14:00 彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール

[曲目] ソル: モーツァルトの《魔笛》による序奏と変奏曲
 J.S. バッハ(福田進一編曲): シャコンヌ ニ短調 BWV 1004/5
 ウォルトン: 5つのバガテル
 タレガ: アルハンブラの思い出、アラビア風奇想曲
 プリテン: ノクターナル(ダウランドの歌曲《来れ深き眠りよ》によるリフレクションズ)
 マネン: 幻想ソナタ 作品A22

チケット(税込)

一般 正面席4,000円 バルコニー席3,000円

U-25*(バルコニー席対象)1,500円/メンバーズ 正面席3,600円

* 公演時、25歳以下の方が対象です。入場時に身分証明書をご提示ください。



ギター曲としての《シャコンヌ》を バッハの語法で編曲・演奏

意外なことだが、福田進一がリサイタルという形で彩の国さいたま芸術劇場に登場するのは、どうやら初めてのこらしい。自身にとっても聴き手にとっても新鮮なコンサートになるはずだが、プログラムは(いわゆるポピュラー名曲路線ではない)かなりの本格的なラインナップだ。「今回は『次代へ伝えたい名曲』という特別なリサイタルですから、僕が考えるギター音楽の王道といえる曲を並べました。ソルとタレガの作品はいわゆるクラシック・ギターの名曲と呼ばれるもので、多くの方がご存知でしょう。バッハの《シャコンヌ》は、もちろんヴァイオリンの作品を編曲したのですが、1920年代にアンド

これが、僕が考える 「ギター音楽の王道」のプログラム

世界で活躍する日本のトップ・アーティストが、次世代へ受け渡したい名曲を選び、演奏する注目のシリーズ。第4回は、ギター奏者・福田進一の登場だ。クラシック音楽におけるギター音楽の開拓者であり、大勢の後進を育てる福田が、今あらためて「次代へ伝えたい」と考える名曲とは。

取材・文 ● オヤマダアツシ (音楽ライター)

Interview

福田進一

「次代へ伝えたい名曲」第4回

レス・セゴビアが弾いてからギター界ではスタンダードな曲としての地位を築いています。自分でもここ数年はバッハを弾き続けてきましたが、どう編曲するかでその人の音楽性が問われる作品だといえますね。僕はヴァイオリンで弾かれるときのボウイング、つまり音楽の話し言葉を継承し、ギターの都合で変えてしまうのではなく、あくまでもバッハの音楽であることは守りたいと思っています。彩の国でヴァイオリニストのイザベル・ファウストが弾いた《ソナタとバルティータ》のコンサートを聴きましたが、とても刺激を受けました」

ギターの表現力を引き出した 充実のプリテン作品

ギター音楽にあまり親しんでいない聴き手にとっては、イギリスの作曲家であるプリテンとウォルトン、スペインの作曲家であるマネンの作品が珍しいものとなるだろう。しかしこの3曲も21世紀のスタンダードとするべく、福田はここで演奏を披露する。

「プリテンもウォルトンも本当によく書けていて、演奏は難しいですけど、もっと多くのギタリストが弾いていかなければならない作品です。どちらの曲もジュリアン・ブリームという素晴らしいギタリストのために書かれており、特にプリテンの《ノクターナル》は1963年、作曲家としての充実期に生まれた曲。その前後には《戦争レクイエム》やオペラ《カーリュ・リヴァー》、ロストロポーヴィチのために書いたチェロの作品群などがあり、ショスタコーヴィチとの交流もありました。この《ノクターナル》にもその痕跡があり、特に途中で登場する行進曲は完全にロシアの香りがします。内容が深い作品ですし、シンプルな旋律を歌う美しさといったギターの表現力を信じてくれているなど実感できる曲なんです」

作曲当時は演奏困難な曲であっても、時

が経つにつれ多くの人が弾くようになり、若い世代のギタリストたちにとってはスタンダードになっていくのだという。「それはヴァイオリンやチェロでも同じですよ。そうした意味では、ギターもようやくほかの楽器と肩を並べることができるようになり、演奏者の層が厚くなっていると感じます。それだけに、まだ発掘されていない重要な音楽を弾き、紹介していくという姿勢を見せるのも自分の役目なのだと思います」

20世紀の秘曲といえる作品も 次世代へ受け継ぐ精神で

そうした“福田イズム”とでも称すべき開拓精神は一貫しており、鈴木大介や大萩康司をはじめとする弟子たちにも受け継がれているといえるだろう。今回のリサイタルでは「日本初演かもしれない、と思えるほど弾かれていない」という、ファン・マネンという作曲家の《幻想ソナタ》も演奏される。ほとんど秘曲といってよいほど、激動の時代に押し流された作品だ。「演奏時間20分ほどですが、壮大なスベ

イン絵巻といえるような1930年代の作品です。同じ時代にスペインの内戦で亡くなったアントニオ・ホセという作曲家がおり、彼の曲はすでにギター界でスタンダードになっているのですが、マネンの曲も歴史の中に埋もれてしまうにはあまりにもったいなく、この機会に日本でもたくさんの人が弾くようになればいいかなとプログラムに入れました。これまで19世紀のそうした曲を発掘してきましたが、20世紀にもたくさんあるだろうと思い、少しずつですが弾いていきたいと思っています。日本の作品でも武満徹さんの曲は世界的な評価を受け、コンクールの課題曲にまでなっています。でも細川俊夫さん、池辺晋一郎さん、三善晃さんほか、多くの作曲家も同様に素晴らしいギター曲を書いていますので、そうした作品も紹介していきたいですね」

今や孫弟子といえる世代がデビューするほどだが、まだまだ未開の地を先頭切って歩く活動に「停滞」という文字はないようだ。今回のリサイタルはその証であり、ますます意気軒昂な継続宣言であるのかもしれない。



Photo ©青柳 聡

福田進一

Shin-ichi Fukuda

ギター

大阪生まれ。1981年パリ国際ギターコンクール優勝。ソロ活動、室内楽、N響をはじめとする内外のオーケストラとの協演などで国際的な評価を得る。今世紀に入り、既に世界20か国以上でリサイタルを開催、2007年度外務大臣表彰を受賞、2011年度第62回芸術選奨文部科学大臣賞受賞。発表したCDはすでに80枚に及び、2015年4月にはマイスター・ミュージックよりイギリス音楽集「ノクターナル」がリリースされた。現在、上海音楽院、大阪音楽大学客員教授。



家族でオーケストラを“感じる”コンサート

埼玉会館ファミリー・クラシック

夏休みオーケストラランド!

毎夏恒例「夏休みオーケストラランド!」は今年で10年目。

3歳から大人まで、家族そろって楽しめる
オーケストラ・コンサートの人気のヒミツは——?

Photo © 加藤英弘



夏休みに家族でオーケストラの音楽を楽しむ演奏会「夏休みオーケストラランド!」は、飯森範親の指揮、東京交響楽団の演奏で2006年からスタートし、今年10年目を迎える。10年といえば、第1回に来場した小学校高学年が、今は大学生か社会人になっている年月。その間、たくさんの家族にご来場いただき、音楽の面白さに触れていただいた。人気公演「夏休みオーケストラランド!」の魅力をご紹介します。

オーケストラの楽器が分かる!

オーケストラの楽しさといえば、さまざまな楽器による多彩で迫力ある響き。とはいえ、楽器について、オーケストラを初め

て聴く人はもちろん、何度も聴いている人も意外と知らないかもしれない。そこで「夏休みオーケストラランド!」では、楽器の紹介を行う。東京交響楽団だけがレパートリーにもつ《ディズニーのメロディーによる管弦楽入門》は、誰もが知っているディズニーの有名なメロディーによって楽器の音色が分かる、来場者にとっても好評の曲。楽器のことを理解できれば、オーケストラにもっと興味が湧くこと間違いなしだ。

子どももステージに! プロのオーケストラと共演

「夏休みオーケストラランド!」の大きな特徴は、子どもがオーケストラに参加し、

オーケストラを体験できる「参加型」のコンサートであること。「みんなで歌おう&演奏しよう!」では、リコーダーや鍵盤ハーモニカなど、持参した楽器と共に舞台上がり、オーケストラと一緒に演奏する。「夏休みオーケストラランド!」がなければ一生に一度あるかないかの貴重な経験で、子どもは大興奮、その姿を客席で見守る家族も大盛り上がりの瞬間である。今年の曲は、ジブリ映画『となりのトトロ』のテーマ曲。楽器が弾けなければ、客席から歌や拍手での参加でもOK!

子どもにとって最大のお楽しみは「指揮者にチャレンジ!」。演奏会当日の抽選で選ばれた子ども3人が、オーケストラを



指揮するコーナーだ。大人の方が「やりたい!」と名乗り出たくなる企画だが、会場全員で指揮の振り方を練習するので、抽選で外れた子どもはもちろん、大人も「指揮の極意」の入口を楽しむことができる。

「子どもソリスト」の演奏に驚嘆!

協奏曲の独奏には、客席の子どもと同年代の「子どもソリスト」が登場。今年は、2013年全国小学生音楽コンクール全国大会ヴァイオリン部門小学校の部第1位の河井勇人さん。「子どもソリスト」の全“子ども”ではない見事な演奏にビックリするのも「夏休みオーケストラランド!」の大きな楽しみである。

本物の大オーケストラの響き

演奏会のメインは、もちろん大オーケストラ曲。吹奏楽をする子どもには身近な曲



緊張の面持ちで「指揮者にチャレンジ!」

のシヨスタコーヴィチ《祝典序曲》や、今年生誕150周年の作曲家シベリウスの組曲《カレリア》より第3曲《行進曲風に》、そして、ディズニー映画『ファンタジア』でもおなじみの交響詩《魔法使いの弟子》で、ホール全体が震えるような大オーケストラの響きを体感してもらおう。

新しい経験や知識を、スポンジが水を吸うように自らの感性に取り込む子どもたち。彼らのための演奏会では、通常の演奏会以上に“本物”の“本気”の演奏を届けな

ければ。なぜなら、その1回の演奏がその子の一生に大きな影響を与えるかもしれないから……オーケストラ団員がそう語るのを聞いたことがある。「夏休みオーケストラランド!」は、オーケストラも並々ならぬ意気込みで挑む真剣勝負の演奏会であり、それでいて、変に構えず気軽にオーケストラ音楽の素晴らしさに接してもらいたい、そんな思いが込められた演奏会である。夏休みは家族そろって「夏休みオーケストラランド!」で本物の音楽を体験しよう!

チケット発売中

埼玉会館ファミリー・クラシック「夏休みオーケストラランド!」

7/26(日)開演14:00(休憩有り) 埼玉会館 大ホール

【出演】飯森範親(指揮)、朝岡 聡(ナビゲーター)
河井勇人(ヴァイオリン/第67回全日本小学生音楽コンクール全国大会小学校の部第1位)
東京交響楽団(管弦楽)
【曲目】シヨスタコーヴィチ: 祝典序曲
小室昌広: ディズニーのメロディーによる管弦楽入門
ブルッフ: ヴァイオリン協奏曲第1番より 第3楽章(ヴァイオリン=河井勇人)
シベリウス: 組曲《カレリア》より 第3曲《行進曲風に》
【指揮者にチャレンジ!】ピゼー: 《カルメン》前奏曲
【みんなで歌おう&演奏しよう!】久石 譲: 映画『となりのトトロ』より《となりのトトロ》
デュカス: 交響詩《魔法使いの弟子》

チケット(税込) S席 大人3,500円 子ども(3歳~中学生)1,500円
A席 大人3,000円 子ども(3歳~中学生)1,000円
メンバーズ S席 大人3,200円 A席 大人2,700円

※3歳未満のお子さまのご入場はご遠慮ください

光の庭プロムナード・コンサート 第78回 夏休みスペシャル! オルガンとうたおう!

光の庭プロムナード・コンサートは、土曜日の午後、フランスのガルニエ社製ポジティブ・オルガン(小型のパイプオルガン)の魅力をお届けしている、無料コンサート。8月は、オルガンと一緒に歌ったり、終演後にはワークショップに参加したり、子ども大人も楽しめる、「夏休みスペシャル」公演!

8/1(土)開演14:00
彩の国さいたま芸術劇場 情報プラザ 入場無料

【出演】中川紫音(オルガン)、岡村知由紀(ソプラノ)
【曲目】バッハ(グノー編曲): アヴェ・マリア
即興演奏をみんなで創ってみよう!

※終演後には、オルガン・ビルダーのマテュー・ガルニエによるワークショップを開催。バラバラにしたポジティブ・オルガンを組み立てるところを見てみよう!

オーケストラを
楽しんだあとは、
オルガン&歌を
聴いてみよう!



昨年の公演の様子より ステージでオーケストラと共演!

今号の巻頭でも取り上げている『ロミオとジュリエット』は、シェイクスピア作品の中でも、時代を問わず、人々の心をとらえ続けている名作。バレエやオペラでも上演され、また同作を下敷きにしたミュージカル『ウエスト・サイド物語』など、さまざまなジャンルにも影響を与えている。ここでは、その中でもロミジュリ映画の数々を紹介しよう。

まずは1936年のジョージ・キューカー監督、レスリー・ハワード&ノーマ・シアラー主演バージョン(アメリカ)。ロミオが当時43歳、ジュリエットが34歳と、今の感覚から言うとちょっと大人なキャストिंगに時代を感じるが、優雅で正統派の一本だ。

1954年にはレナート・カステラーニ監督、ローレンス・ハーヴェイ&スーザン・シェントール主演(イギリス/イタリア)でつくられた。じっくりと、格調高く、たっぷり……。しっかり原作を踏まえ一本だ。

とりわけ有名な一作は、1968年のフランコ・ゼフィレリ監督、レナード・ホワイティング&オリビ

ア・ハッセー主演(イギリス/イタリア)だろう。当時まだ10代の新人役者を使うことで原作の設定に近づけ、瑞々しい、スピード感ある青春映画に仕上げた。ニーノ・ロータの音楽《愛のテーマ》とともに、長く愛されている傑作。

おそらく若い世代にとっての“ロミジュリ”は、1996年のバズ・ラーマン監督、レオナルド・ディカプリオ&クレア・デーンズ主演版(アメリカ)だろう。両家の不仲をギャングの権力争いに置き換えた現代的な演出で、ロミオはアロハシャツ姿。水槽ごしに2人が出会う場面はロマンティックなアイデアだ。

最後に、変わり種として『恋におちたシェイクスピア』も挙げておきたい。ロミジュリ誕生の背景には、作家自身の恋物語があった……という大胆仮説のもと、シェイクスピアと上流階級女性の恋愛を、劇中劇を絡めながら描く。普遍的なラブストーリーは、いつの時代も生まれ変わりながら光り続ける。

Break Time

時代を越えるラブストーリー 映画で楽しむロミジュリ



フランコ・ゼフィレリ監督バージョンは、オリビア・ハッセー(左)とレナード・ホワイティングの若きカップルが話題を呼んだ。
写真協力 公益財団法人川喜多記念映画文化財団

Review

レビュー

2015 3.1-4.30

PLAY

彩の国シェイクスピア・シリーズ第30弾×さいたまネクスト・シアター第6回公演

『リチャード二世』

4.5(日)–19(日) 彩の国さいたま芸術劇場 インサイド・シアター(大ホール内)



開幕、舞台奥から出てきたのは紋付袴と黒留袖姿の、車いすに乗った老人と付き添う若者たち。タンゴのリズムが流れると、老人たちは立ち上がり、老若入り乱れてステップを踏む。狂騒で始まった〈彩の国シェイクスピア・シリーズ〉およびさいたまネクスト・シアターの最新作は、ゴールド・シアターも参戦し、60名を超える出演者での総力戦だった。孤独な魂をせりふに滲ませる内田健司のリチャード二世、筋肉質な強さを見せた豎山隼太のボリングブルックの関係は同性愛的なエロティックさで、敗れる人間の美しさが刺さる。幻想的に詩的に立ち上げられた場面に垣間見えたのは、今も争い続ける人間たち。われわれと地続きの物語が押し寄せた。

MUSIC

埼玉会館ランチタイム・コンサート第28回

東京吹奏楽団メンバーによる金管五重奏+打楽器

3.5(木) 埼玉会館 大ホール

2014年度最後のランチタイム・コンサートには東京吹奏楽団のメンバーが登場。金管五重奏の華やかなファンファーレからはじまり、カルメン・ファンタジーやマイケル・ジャクソン・メドレー、日本の唄など次々と馴染みのある作品が演奏された。曲間には実演を交えながら各楽器の説明を行ったり、身体を打楽器に見立て演奏するボディ・パーカッションを来場者とともに演奏する場面があったりと、出演者のアイデア満載の50分間となった。陽気なメンバーたちによる軽妙なトークとも相まって客席は大盛り上がり。終演後には出演者がロビーで来場者を見送るなど、ふれあいもある温かみのある公演となった。



Photo © 加藤英弘

大ホール 小ホール 音楽ホール 映像ホール 情報プラザ = 彩の国さいたま芸術劇場
3歳以上のお子様から楽しんでいただける公演です。
光の庭プロムナード・コンサートには年齢制限はありません。

PLAY DANCE MUSIC CINEMA

PLAY

7.2(木) **松竹大歌舞伎**
熊谷文化創造館さくらめいと 太陽のホール
開演 12:30/17:00 [詳細はP.21](#)

7.18(土) **彩の国さいたま寄席 四季彩亭**
～平成26年度彩の国落語大賞受賞者の会
立川談笑
小ホール 開演14:00 [詳細はP.8-9](#)

7.29(水)～8.2(日) **コンフェティ劇団『秘密のショートケーキ』**
小ホール
7.29(水) 13:30/15:30 8.1(土) 11:00/13:30/15:30
30(木) 11:00/13:30 2(日) 11:00/13:30/15:30
31(金) 11:00/13:30 [詳細はP.6-7](#)

DANCE

5.30(土) 31(日) **コンドルズ 埼玉公演2015新作『ストロベリーフィールズ』**
大ホール
30(土) 14:00/19:00 31(日) 15:00 [詳細はP.21](#)

6.20(土) 21(日) **テロ・サーリネン・カンパニー『MORPHED—モーフト』**
大ホール 20(土)・21(日) 15:00 [詳細はP.10-11](#)

MUSIC

5.16(土) **光の庭プロムナード・コンサート第76回 ばらまつりスペシャル～ヴェネツィアからの風**
情報プラザ 開演14:00 *入場無料
[出演]和田純子(オルガン)&庄司知史(オーボエ)
[曲目]シューマンの〈美しい5月に〉〈東方のバラより〉による即興演奏
ヴィヴァルディ: オーボエ協奏曲 へ長調 ほか

5.24(日) **庄司紗矢香&ジャンルカ・カシオーリ デュオ・リサイタル**
音楽ホール 開演15:00 [詳細はP.21](#)

6.19(金) **埼玉会館ランチタイム・コンサート第29回 NHK交響楽団メンバーによるアンサンブル**
埼玉会館 大ホール 開演12:10(終演予定13:00)
[詳細はP.21](#)

6.27(土) **光の庭プロムナード・コンサート第77回 ～オルガンとトランペットの色彩～**
情報プラザ 開演14:00 *入場無料
[出演]大木麻理(オルガン)&村山貴幸(トランペット)
[曲目]シャルパンティエ: テ・デウム
J.S.バッハ: 主人の望みの喜びよ ほか

7.11(土) **アンサンブル・ウィーン=ベルリン**
音楽ホール 開演15:00 [詳細はP.21](#)

7.26(日) **埼玉会館ファミリー・クラシック 夏休みオーケストラ!**
埼玉会館 大ホール 開演14:00 [詳細はP.16-17](#)

CINEMA

彩の国シネマスタジオ
【全席自由・各回入替制・整理券制】
大人1,000円/学生500円 [入場時に学生証をご提示ください]
※料金は当日支払いのみ

6.11(木)～14(日) **『リスボンに誘われて』**
映像ホール
11(木) 10:30/14:00/17:00
12(金) 10:30/14:00/17:00
13(土) 10:30/14:00/17:00
14(日) 10:30/14:00
(2012年/ドイツ・スイス・ポルトガル/111分)
[監督]ピレ・アウグスト [出演]ジェレミー・アイアズ、メラニー・ロラン、ジャック・ヒューストン ほか

7.9(木)～12(日) **映像ホール**
A『めぐり逢わせのお弁当』
B『きっと、うまくいく』(リクエスト上映)
9(木) 10:30(A)/14:00(B)/18:00(A)
10(金) 10:30(B)/15:00(A)/18:00(A)
11(土) 10:30(A)/14:00(A)/17:00(B)
12(日) 10:30(B)/15:00(A)
[めぐり逢わせのお弁当] (2013年/インド・フランス・ドイツ/105分)
[監督]リテーシュ・バトラ
[出演]イルファン・カーン、ニムラト・カウル、ナワズッディーン・シッディキー ほか
[きっと、うまくいく] (2009年/インド/170分)
[監督・脚本]ラージクマル・ヒラニ
[出演]アーミル・カーン、カリナ・カプール、R.マダーヴァン、シャルマン・ジョーシ ほか

7.11(土) **『めぐり逢わせのお弁当』**
情報プラザ 開演14:00 *入場無料
[出演]イルファン・カーン、ニムラト・カウル、ナワズッディーン・シッディキー ほか

●…彩の国さいたま芸術劇場 休館日 ●…埼玉会館 休館日

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|--|
| 2015 | 5 | 6 | 7 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| S | M | T | W | T | F | S | S | M | T | W | T | F | S | S | M | T | W | T | F | S | |
| | | | | | 1 | 2 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 1 | 2 | 3 | 4 | | | | | |
| | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | |
| | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | |
| | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | |
| | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 28 | 29 | 30 | | | | | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | | |
| | 31 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

PLAY DANCE MUSIC CINEMA

*U-25チケットは公演時、25歳以下の方が対象です。入場時に身分証明書をご提示ください。

PLAY

発売中 ※残席僅少
彩の国さいたま寄席 四季彩亭
～平成26年度
彩の国落語大賞受賞者の会
立川談笑
[詳細はP.8-9](#)

発売中
松竹大歌舞伎
7.2(木) 昼の部12:30/夜の部17:00
熊谷文化創造館さくらめいと 太陽のホール
[演目]『双蝶々曲輪日記 引窓』、
『襲名披露 口上』、『連獅子』
[出演]中村翫雀改め四代目中村鷹治郎、
坂田藤十郎、中村扇雀、尾上松緑 ほか
チケット(税込)
一般 S席6,500円/A席4,000円/B席2,000円
メンバーズ S席6,000円/A席3,600円
※イヤホンガイド(有料)あり。
※熊谷会館(閉館)での公演はございません。

発売日 一般 6.7(日) メンバーズ 5.31(日)
コンフェティ劇団
『秘密のショートケーキ』
[詳細はP.6-7](#)

発売日 一般 6.7(日) メンバーズ 5.31(日)
サンクトペテルブルグ
プラスチックハンドシアター“ハンドメイド”
『ハンドメイド』
[詳細はP.6-7](#)

発売日 一般 6.13(土) メンバーズ 6.6(土)
『海辺のカフカ』
9.17(木)～10.4(日) **彩の国さいたま芸術劇場 大ホール**

| | |
|--------------------|-------------------|
| 9.17(木) 18:30 | 26(土) 13:30/18:30 |
| 18(金) 18:30 | 27(日) 13:30 |
| 19(土) 13:30/18:30 | 28(月) 休演 |
| 20(日) 13:30 | 29(火) 13:30/18:30 |
| 21(月祝) 休演 | 30(水) 14:00 |
| 22(火祝) 13:30/18:30 | 10.1(木) 14:00 |
| 23(水祝) 13:30 | 2(金) 18:30 |
| 24(木) 14:00 | 3(土) 13:30/18:30 |
| 25(金) 18:30 | 4(日) 13:30 |

[原作]村上春樹 [脚本]フランク・ギャラティ
[演出]蛭川幸雄
[出演]宮沢りえ、藤木直人、古畑新之、鈴木 杏、
柿澤勇人、高橋 努、鳥山昌克、木場勝己 ほか
チケット(税込)
一般・メンバーズ S席10,800円/A席8,700円
※本公演はメンバーズ料金の設定はございません。

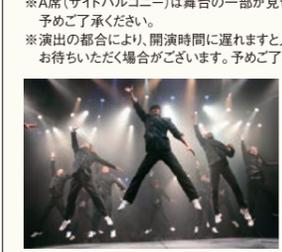
発売日 一般 6.20(土) メンバーズ 6.27(土)
オックスフォード大学演劇協会 (OUDS)
『ロミオとジュリエット』
[詳細はP.3-5](#)



発売日 一般 7.11(土) メンバーズ 7.4(土) ※メンバーズプレオーダー(抽選)があります
彩の国シェイクスピア・シリーズ第31弾
『ヴェローナの二紳士』
[詳細はP.3-5](#)

DANCE

発売中
コンドルズ 埼玉公演2015新作
『ストロベリーフィールズ』
5.30(土) 14:00/19:00
31(日) 15:00
彩の国さいたま芸術劇場 大ホール
[構成・映像・振付]近藤良平
[出演]コンドルズ
チケット(税込)
一般前売 S席4,500円/A席3,500円
U-25* 前売 S席3,000円/A席2,000円
メンバーズ前売 S席4,100円/A席3,200円
◎当日券は各席種とも+500円(メンバーズ+400円)
※A席(サイドバルコニー)は舞台の一部が見切れます。
予めご了承ください。
※演出の都合により、開演時間に遅れますと入場を
お待ちいただく場合がございます。予めご了承ください。



発売中
テロ・サーリネン・カンパニー
『MORPHED—モーフト』
[詳細はP.10-11](#)

MUSIC

※予定枚数終了
庄司紗矢香&ジャンルカ・カシオーリ
デュオ・リサイタル
5.24(日)15:00
彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール

発売中 ※残席僅少
埼玉会館ランチタイム・コンサート第29回
NHK交響楽団メンバーによる
アンサンブル
6.19(金)12:10(終演予定13:00)
埼玉会館 大ホール
[出演]大宮臨太郎・松田拓之(ヴァイオリン)、
坂口弦太郎(ヴィオラ)、山内俊輔(チェロ)、
高橋 希(ピアノ)
[曲目]チャイコフスキー: 花のワルツ
シューマン: ピアノ五重奏曲より第1楽章 ほか
チケット(税込) 全席指定 1,000円

発売中 ※残席僅少
アンサンブル・ウィーン=ベルリン
7.11(土)15:00
彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール
[出演]カール=ハインツ・シュツツ(フルート)、
ジョナサン・ケリー(オーボエ)、
アンドレアス・オッテンザマー(クラリネット)、
リヒャルト・ガラー(ファゴット)、
シュテファン・ドール(ホルン)
[曲目] ハイドン: ディヴェルティメント
メンデルスゾーン: 《真夏の夜の夢》木管五重奏版
ドヴォルジャーク: 《スラヴ舞曲集》より
バーバー: 夏の音楽 作品31
デリベラ: アイレストロピカレス
ガーシュウィン: 《ボギーとベス》木管五重奏版
チケット(税込) 一般 4,500円
U-25* 2,000円 メンバーズ 4,100円

発売中
埼玉会館ファミリー・クラシック
夏休みオーケストラ!
[詳細はP.16-17](#)

次頁へ続く

Tickets チケット

発売中

彩の国さいたま芸術劇場シリーズ企画
「次代へ伝えたい名曲」第4回
福田進一 ギター・リサイタル

☞ 詳細はP.14-15

発売中

**ピアノ・エトワール・シリーズ
4公演セット券**

Vol.27 ベンジャミン・グローヴナー
アンコール! Vol.4 フランチェスコ・トリスターノ
Vol.28 チョ・ソングジン
アンコール! Vol.5 福岡洸太郎

☞ 詳細はP.12-13

発売日 (Vol.27 一回券) 一般 5,300(±) メンバーズ 5,230(±)
(アンコール! Vol.4 単独券)
一般 7,110(±) メンバーズ 7,400(±)

ピアノ・エトワール・シリーズ
Vol.27 ベンジャミン・グローヴナー
アンコール! Vol.4
フランチェスコ・トリスターノ

☞ 詳細はP.12-13

発売日 一般 5,310(日) メンバーズ 5,300(±)

埼玉会館ランチタイム・コンサート第30回
**北川 翔(バラライカ) &
大田智美(アコーディオン)**
8.25(火)12:10(終演予定13:00) 埼玉会館 大ホール
[曲目]クニツベル: ポーリシュカ・ポーレ ほか
チケット(税込) 全席指定 1,000円

発売日 一般 6,600(±) メンバーズ 5,300(±)

NHK交響楽団

下野竜也(指揮) 清水和音(ピアノ)

11.8(日)16:00 さいたま市文化センター 大ホール

[曲目]ラフマニノフ: ピアノ協奏曲第3番
ベートーヴェン: 交響曲第7番

チケット(税込)

一般 S席6,500円/A席5,000円/B席4,000円

U-25*(B席対象) 2,000円

メンバーズ S席6,000円/A席4,500円/B席3,600円

※埼玉会館休館中により別会場で開催いたします。ご注意ください。

※開演前15:25より指揮者によるプレコンサートトークを予定しております。



Photo©Naoya Yamaguchi Photo©K.Miura

発売日 一般 6,600(±) メンバーズ 5,300(±)

タンブッコ・パークッション・アンサンブル

9.26(土)15:00

彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール

[曲目]スティーヴ・ライヒ: 木片の音楽 ほか

チケット(税込) 一般3,500円

U-25* 1,500円 メンバーズ3,200円

※関連ワークショップ「フロム・ザ・キッチン〜キッチン道具のアンサンブル」を開催します。応募方法はP.23をご覧ください。

タンブッコ in セツ梅酒造跡

9.27(日)13:00/16:00(予定)

※公演時間約1時間を予定。開場は開演の30分前です。

セツ梅酒造跡 東蔵ホール(深谷市)

[曲目]ポール・バーカー: 「石の歌、石の踊り」 ほか

チケット(税込) 全席自由

一般1,500円 小・中学生1,000円

発売日 一般 6,600(±) メンバーズ 5,300(±)

**マリア・ジョアン・ピリス
バルティトゥーラ・プロジェクト in 彩の国
〜若き俊英グーアンを迎えて〜**

11.15(日)15:00

彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール

[出演] マリア・ジョアン・ピリス(ピアノ)、
ナタナエル・グーアン(ピアノ)

[曲目] シューベルト: 4手のためのアレグロD947「人生の嵐」
ベートーヴェン: ソナタ第31番(ピリス独奏) ほか

チケット(税込)

一般 正面席6,500円/バルコニー席5,000円

U-25*(バルコニー席対象) 2,500円

メンバーズ正面席6,000円



Photo©Harald Hoffmann DG

発売日 一般 7,110(±) メンバーズ 7,400(±)

彩の国さいたま芸術劇場シリーズ企画
「次代へ伝えたい名曲」第5回
今井信子 ヴィオラ・リサイタル

11.28(土)15:00

彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール

[出演] 今井信子(ヴィオラ)、キム・ソヌク(ピアノ)

[曲目] 武満 徹: 鳥が道に降りてきた
ブラームス: ヴィオラ・ソナタ第1番 ほか

チケット(税込)

一般 正面席4,000円/バルコニー席3,000円

U-25*(バルコニー席対象) 1,500円

メンバーズ正面席3,600円

INFORMATION



Photo©Takashi Arai

**タンブッコ・パークッション・アンサンブル
関連ワークショップ開催!**

みんなの家の台所から、フライパンやお鍋やおたま、なんでもかんでも持ち寄ってタンブッコと一緒に音楽をつくろう! リズムのルーツについてのお話やタンブッコの演奏を近くで聴く・観るチャンスもあります。ぜひご参加ください!

『フロム・ザ・キッチン!〜キッチン道具のアンサンブル』※通訳付き

9.26(土) 11:00 彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホールステージ上

[対象] 小学生以上ならどなたでも

[参加費] 1,000円

※タンブッコ・パークッション・アンサンブル劇場公演チケットをお持ちの方は無料。公演詳細はP.22をご覧ください。

[申込方法] 往復はがきの往信面、またはメールに下記事項をご記入の上、お送りください。

①氏名②年齢③郵便番号、住所④電話番号⑤劇場公演チケットの席番

[申込先] 〒338-8506 さいたま市中央区上峰3-15-1

(公財) 埼玉県芸術文化振興財団 事業部「タンブッコWS」係

[メールアドレス] music@saf.or.jp

[締切] 8月20日(木) 必着

※抽選の上、8月末日までに結果を郵送いたします。

【お問い合わせ】 彩の国さいたま芸術劇場(音楽担当) 048-858-5506



**埼玉会館
大規模改修工事に伴う
休館のお知らせ**

日頃より当財団で管理している埼玉会館につきましてご愛顧いただき、厚く御礼申し上げます。

埼玉会館は、昭和41年に現在の建物が竣工されてから48年が経過し、今後も安全かつ快適にご利用いただくため、施設・設備の大規模改修工事を行います。そのため下記のとおり休館いたします。休館中の2015年11月8日に開催を予定しております当財団主催の「NHK交響楽団」公演は、さいたま市文化センターに場所を移して開催いたします。予めご了承くださいませようお願いいたします。

休館期間: 平成27年10月1日から
平成29年3月31日まで(予定)

☞ 「NHK交響楽団」の公演詳細情報はP.22をご覧ください。

メンバーズに入会すると便利で楽しい特典がいっぱい!!

年会費2,000円

特典① メンバーズ料金

財団指定の公演をメンバーズ料金でご覧いただけます

特典② 優先予約

一般発売よりも先に公演のチケットをご予約いただけます

特典③ チケット購入はキャッシュレス

チケット代、年会費は便利な口座引落し

特典④ 財団情報誌をお届け

公演情報満載の「埼玉アーツシアター通信」をお送りします

特典⑤ チケット送料無料

販売チケットは「安心のセキュリティパック(補償付き)」でお届け

特典⑥ プレオーダー

人気の公演では優先予約に先駆けてプレオーダーを実施 ※プレオーダーは抽選

ご入会希望の方は、

メンバーズ事務局 Tel.048-858-5507(彩の国さいたま芸術劇場休館日を除く 10:00~19:00)

ACCESS

彩の国さいたま芸術劇場



〒338-8506 埼玉県さいたま市中央区上峰 3-15-1
電話:048-858-5500(代) ファックス:048-858-5515

●電車でのアクセス

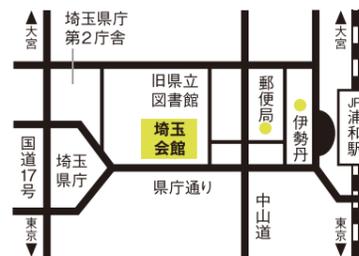
JR京線与野本町駅(西口)下車 徒歩7分

●バスでのアクセス

JR京浜東北線北浦和駅から西武バス大久保行き

「彩の国さいたま芸術劇場入口」下車 徒歩2分

埼玉会館



〒330-8518 埼玉県さいたま市浦和区高砂 3-1-4
電話:048-829-2471(代) ファックス:048-829-2477

●電車でのアクセス

JR宇都宮線・高崎線・京浜東北線・湘南新宿ライン

浦和駅(西口)下車 徒歩6分

チケット購入方法について

インターネット

SAF オンラインチケット
で、発売初日10:00から
公演前日23:59まで
受付いたします。

【PC・携帯共通】
http://www.ticket.ne.jp/saf/

メンバーズ 登録のご住所へ無料配送

一般 【クレジットカード決済】 ▶ コンビニ発券
または【コンビニ支払い】

※チケット代他に、店頭発券手数料(チケット1枚につき120円)が必要です。

電話予約

チケットセンター 0570-064-939
10:00~19:00(彩の国さいたま芸術劇場休館日を除く)

※一部の携帯電話、PHS、IP電話からは受付できません。

メンバーズ 登録のご住所へ無料配送

一般 【クレジットカード決済】 ▶ コンビニ発券
または【コンビニ支払い】

※チケット代他に、店頭発券手数料(チケット1枚につき120円)が必要です。
※コンビニ支払い後に宅配便での配送も承りますが、チケット代のほかに配送料(配送1件につき400円)が必要です。

窓口販売

下記窓口で直接購入いただけます。
電話予約したチケットの引取もできます。

●彩の国さいたま芸術劇場(10:00~19:00)

●埼玉会館(10:00~19:00)[9月末まで]

※休館日をお確かめの上、ご来場ください。

メンバーズ 【口座引落し】

一般 【現金】または【クレジットカード決済】

その場で
チケットを
お渡します。
※手数料は
かかりません。

【サポーター会員】

(公財) 埼玉県芸術文化振興財団は、演劇、ダンス、音楽を中心に、この劇場でしか見られない最高の作品を提供できるよう、蛭川幸雄芸術監督のもと、作品づくりに努めています。こうした財団の活動にご理解、ご支援をいただいているのが(公財) 埼玉県芸術文化振興財団サポーター会員の皆様方です。

株与野フードセンター/株亀屋/株松本商会
(有)香山壽夫建築研究所/埼玉新聞社

テレビ埼玉ミュージック/埼玉りそな銀行

株バシフィックアートセンター

株アサヒコミュニケーションズ

FM NACK5/東京ガス株

カヤバシステム マンナリー株/株タムロン

株十万石ふくさや/森平舞台機構株

東芝エルティエーエンジニアリング株

埼玉トヨタ自動車株/衛齋賀設計工務

武蔵野銀行/浦和ロイヤルパインズホテル

アルビーノ村/国際照明株

埼玉スバル/桶本興業株/株佐伯紙工所

株太陽商工/株しまむら

(有)六辻ゴルフセンター/不動開発株

ビストロ やま/埼玉県信用金庫

株栗原運輸/彩の国SPグループ

(有)ブラネッツ/関東自動車株/株デサン

セントラル自動車技研株/丸美屋食品工業株

ポラスグループ/ひがし歯科

埼玉トヨペット株

公認会計士 宮原敏夫事務所

株価値総合研究所/株埼玉交通

医療法人 顕正会 蓮田病院/株ウイズネット

サイデン化学株/アイル・コーポレーション株

五光印刷株/旭ビル管理株

ヤマハサウンドシステム株

株エヌテックサービス/株クリーン工房

株つばめタクシー/株サンワックス

株総合舞台/株タクトコーポレーション

広総業株/助さいたま住宅検査センター

株国大セミナー/株NEWSエンターテインメント

株オーガス/イープラス/六三四堂印刷株

医療法人 櫻会 林整形外科

埼玉県整形外科医会

医療法人社団 山粋会 山崎整形外科

サンケイリビング新聞社/株三和広告社

株セノン/ショッパー/株松尾楽器商会

JA埼玉県中央会/日本大学芸術学部

株川口自動車交通/株ホンダカーズ埼玉

ファミリーマートあすまや/南杉田電機

丸茂電機株/太平ビルサービス株/さいたま支店

株片岡食品/株協栄/株ヨコハマタイヤジャパン

NTT東日本 埼玉事業部/チャコット株

株平和自動車/光陽オリエントジャパン株

埼玉建設株/さくら Music Office

クワバラ・パンぶキン/駒橋内科医院

東和産業株/テレビ埼玉

日本ビストンリング株/金井大道具株

国立大学法人 埼玉大学/株七越製菓

2015.4.25現在/一部未掲載

お問い合わせ
(公財) 埼玉県芸術文化振興財団 サポーター会員担当
TEL 048-858-5507

どっちつかずの天使
VOL.1

画●磯良一

おじいちゃん、
何があったの!?

文●岩松了

知り合いのA氏は長い間水商売をやってある程度のお金を貯め、今は引退し、悠々自適の生活に入った。65歳だが、見た目は50代だ。1月に会ったとき、近々50日間のクルーズの旅に出ると言っていた。どこか(忘れてしまった)外国を船で廻る旅。

私は3月に『結びの庭』という芝居を公演した。A氏はクルーズに出てるだろうから観に来ることは出来ないだろうと思っていたら、3月25日の東京公演千穉楽を観に来てくれた。帰って来たばかりだという。

楽屋を訪ねてくれて、芝居の感想を言ったあと、50日間の船旅のことを話してくれた。けっこうな料金の船旅だから、年老いたお金持ちがほとんどだったらしい。「私なんかとんだ若造よ」とA氏。あ、水商売とはゲイバーだ。いちいち感嘆符がつくような話し方は時々うるさいが、千穉楽のこれから片付けものを始めようかという時ではあったが、なぜかそのときは心地よかった。で？ で？ と話の先を催促していた私。圧巻は、船の中にある大浴場。老人二人がお湯に入っているが、片方が立ち上がり、揺れる船だから、壁に片手をつき、こう言ったというのだ。

「売られたケンカは買わなきゃめえな」

私は目の当たりにしているわけではないから断言は出来ないが、まあ体はシワシワだろう、お湯の水面は少しばかり波打ってるだろう。それでこのセリフ。私はすかさず言った。「それ芝居の稽古してたんじゃないの？」

「なに言ってんの！ 何日も船の中にいたら人間関係も煮詰まるのよ！」。A氏は付け加えるように言う。「そのおじいちゃん、ものすごくお金持ちなのよ！」

私は、まあ芝居の稽古だったとしても、これはこれでよしとするか、の心持ち。

で、実はこんなことを思っていたのだ。この話、ゴールド・シアターの第1回公演『船上のピクニック』を書く前だったら、ずいぶん参考になったろうになあ。

いわまつ・りょう

劇作家、演出家、俳優、映画監督と幅広く活躍。

さいたまゴールド・シアター『船上のピクニック』『ルート99』の劇作を手掛けた。